

いまむら 今村 あやこ 彩子さん 32

顔



撮影・鷹見安浩

ろう者の男性が経営するサーフショップを舞台に、ドキュメンタリー映画「珈琲とエンピツ」を撮った。主人公の店

主は、来店客に笑顔でコーヒーを勧め、紙と鉛筆を示し、筆談と身ぶり

で会話をする。今日、波乗った？。最初戸惑っていた客もすぐに会話に引き込まれる。

「声で話さなくても、手話が出来なくても会話は楽しめる。それを皆さんに知ってほしく

て」。映画は活動拠点の愛知県などで評判になり、来年3月には東京・新宿の映画館でも上映される。

小学生の時、友達同士の会話に加われず寂しい思いをしたこともあった。そんな頃、父親が借りてきた映画「E.T.」の字幕付きビデオに感動。映画監督を志し、講義に手話通訳がつく米国の大学に留学、映画制作を学んだ。

ろう社員の職場環境や、ろう・難聴学生の支援など、ろう者の生活を一貫してテーマにしてきた。今は東日本大震災の被災地を継続的に取材中。「聞こえないために情報が入らず、不安な思いをした人はたくさんいる。そんな実情を伝えていきます」（生活情報部 西村洋一）